

休眠預金（10年間取引がない預金）が社会課題の解決や民間公益活動促進に活用されているのをご存じですか？

このフォーラムでは、山梨県、長野県において、子ども若者らが自ら課題を解決する力を持てる地域づくりを目指し、市民団体や地域団体が取り組んでいる活動の紹介と、またこれらの活動が、私たちの暮らす地域社会にどのようなインパクトを生み出せるのか、よりよい地域社会へと変えていけるのかを考えます。



# 甲信地域休眠預金活用フォーラム

子ども若者らが自ら課題を解決する力を持てる地域づくり

日時：2021年12月19日（日）

受付13:00 開始13:15～16:00

場所：やまなし地域づくり交流センター 多目的ホール

（山梨県甲府市丸の内2丁目35-1 甲府南口から徒歩8分）

定員：会場45人 オンライン（視聴のみ）30人 参加費：無料

## プログラム

- 開会挨拶 甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム  
運営委員会委員長 五十嵐 晃一（富士山クラブ副理事長）
- 基調講演 休眠預金の担う役割とは（30分）  
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）  
事業部長 和田 泰一氏
- 実行団体活動発表（各15分）  
「ニラサキサラニ ～実践型若者プレイヤーズ育成プロジェクト～」  
NPO法人 河原部社（山梨県韮崎市）  
「リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業」  
認定NPO法人 スペースふう（山梨県富士川町）  
「社会的処方を目指した生態系モデル構築事業」  
NPO法人 bond place（山梨県南アルプス市）  
「富士見・八ヶ岳山麓地域の未来のまちづくり・ラボ実現プロジェクト」  
八ヶ岳山麓食のまちづくりラボコンソーシアム（長野県富士見町）  
※コンソーシアム構成団体 NPO法人こどもの未来をかんがえる会、富士見町商工会、合同会社きざし  
「別所温泉 里山アグロフォレストリープロジェクト」  
（一社）信州上田里山文化推進協会（長野県上田市）  
（休憩 10分）
- パネルディスカッション（45分）  
「地域社会を変えるインパクトを生み出す」  
登壇者 JANPIA 和田 泰一氏、各実行団体担当者  
ファシリテーター 長野県みらい基金理事長 高橋 潤
- 閉会  
（司会 認定NPO法人富士山クラブ プログラムオフィサー 青木 直子）

参加申込はWEBで、<https://forms.gle/cc3BuNaGLMKZueMg9> にアクセスするか、  
下記QRコード、または富士山クラブまでお申込みください。



## 甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム



認定特定非営利活動法人 富士山クラブ（本部）  
山梨県南都留郡富士河口湖町西湖2870 ☎0555-20-4600  
Email: kyumin@fujisan.or.jp



公益財団法人 長野県みらい基金  
長野県長野市南長野幅下692-2 長野県庁東庁舎1階 ☎0263-50-5535  
問合せ：松本事務所/長野県松本市島立1020 松本合同庁舎2階 ☎0263-50-5535  
Email: kyumin-nagano\_koubo@mirai-kikin.or.jp



参加申込 QR コード

# 甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム 甲信地域支援と地域資源連携事業

～こども若者が自ら課題を解決する力を持てる地域づくり～

認定 NPO 法人富士山クラブ（山梨県）と公益財団法人長野県みらい基金は、甲信地域休眠預金等活用コンソーシアム（資金分配団体）を結成、休眠預金を活用した助成事業「甲信地域支援と地域資源連携事業～こども若者が自ら課題を解決する力を持てる地域づくり～」(2021 年度～ 2023 年度)を実施しています。現在、山梨県 3 団体と長野県 2 団体の計 5 団体（実行団体）が、それぞれの地域で活動しています。

## 私たちのゴール 将来はこんな地域になっている

それぞれの団体の取り組みを通じて、甲信地域のこども若者が、コミュニティの創造・再生に携わり、地域資源を活かしながら、地域に誇りを持ちその土地で生きいける、そのような地域になっていくことを目指しています。

八ヶ岳山麓地域において、「八ヶ岳山麓食のまちづくりフォーラム」協力団体が、地域内経済循環を考え、地域内経済循環の活性化するための具体的な活動が始まる。(交流の場)  
事業終了から 2 年後にはこの事業を契機に、食に携わる関係者が協働して、共同加工所や地域内の食の流通の仕組みづくりが整えられ、ソーシャルビジネスを生み出す基盤が整う。(活躍の場)  
事業終了の 5 年後には子どもの居場所が継続的に提供され、子どもや若者の活躍により特色のある健康的な食の普及が進み、富士見町及び周辺の地域との連携により食を中心とした地域内の資源循環が実現し、経済社会が活性化し、子どもや若者に希望と夢を与える地域や社会になる。(創造の場)  
【八ヶ岳山麓食のまちづくりラボコンソーシアム】

- アグロフォレストリーのフィールドで継続的に里山暮らしの体験や伝承が行われ、移住者・若者が里山文化を継承できる。
- 新規参入者や二地域居住者により空き家が活用される。 ●地域の次世代が 3 名、移住者が 5 世帯、地域資源を活用した里山ビジネスで起業し、地域に定着する。 ●里山ビジネスの自営業ネットワークができ、共通のブランドを作って売り上げを伸ばす。
- 当団体のコミュニティ加工所を拠点に里山資源を使った加工品、新商品の研究、勉強会を共同で行えるようになり、起業をさらに支援できる。 ●里山ビジネスの自営業ネットワークが別所温泉の観光産業と協働し、里山を活用したイベントを実施して地域活性化や観光へも寄与するようになる。 ●不在地主、遠くにいる親戚などの連絡先リストを管理する仕組みができ、自治会とも連携して倒壊家屋、放置ゴミ問題や、地域の安全、防災にも役立つ住みやすい地域になる。 ●二地域居住者、移住者、地域住民有志の連絡会ができ、地域のウォーキング、醤油づくりなどの里山暮らしを楽しみ伝える新しいアソシエーションができ、暮らしが豊かになる。 ●10 年後、法律に対応した所有者不明山林の活用の仕組みができ、それを活用してフィールドを拡大し、雇用も起こし、持続可能な日本型アグロフォレストリーの発信拠点となる。 ●10 年後、森林組合とも協働し、当会が森林公園の指定管理もするようになり、若者の雇用もさらに増加し、観光地の魅力も増加する。【信州上田里山文化推進協会】

3 年の間に若者プレイヤーのコミュニティを作り、さまざまなプロジェクトが生まれるなかで、さらに地域に若者プレイヤーが増え、地域全体に希望感が増し、人が人を呼ぶ好循環がなされている。またそれらの活動を内外に発信することで、関係人口層が地域内に増えている。【河原部社】

産後ママを中心とする子育て家庭が孤立せず、人とのつながりを通して安心して子育てができる地域社会になる。また、地域のネットワークを活かし、社会的つながりが少ない若者や女性等が働きやすい地域社会を実現する。【スペースふう】

社会的処方を実現するリンクワーカーが生まれる・見つかる・育つ生態系モデルになる。様々なステークホルダーを巻き込んだソーシャルビジネスが立ち上がり、地域で継続的に社会的処方を実現することが可能になる。誰もがリンクワーカーとして活動し、小さな困りごとや孤立をキャッチするより細かいセーフティネットがある地域になる。【bond place】

## 休眠預金等の活用について

### 休眠預金等活用とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」（休眠預金等活用法）に基づき、2009 年 1 月 1 日以降の取引から 10 年以上、その後の取引のない預金等（休眠預金等）を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度が 2019 年度から始まりました。

### 資金分配団体の役割

「包括的な支援プログラム」を企画・設計し、民間公益活動を行う団体（実行団体）に対して革新的な手法による資金の助成や経営・人材支援等の非資金的支援を伴走型で実施。これにより、民間公益活動の自立した担い手を育成する中心的な役割を担います。

### 重視すること

- 国民、ステークホルダー（多様な関係者）への事業の透明性や説明責任
- 事業の成果の可視化⇒社会インパクト評価の実施
- 民間公益活動を担う組織の能力強化を目的とした伴走支援（プログラム・オフィサーの確保と育成など）

### 休眠預金等の活用の流れ

